

CONTENTS

Vol.143

- 2 卒業生・修了生に贈る言葉
- 3 卒業・修了おめでとう!
 - 3 情報工学分野
 - 4 機械工学分野
 - 5 電気工学分野
 - 6 電子工学分野
 - 7 建築工学分野
 - 8 建設・生産システム工学専攻
 - 9 電子情報システム工学専攻
- 10 就職先・進学先一覧
- 11 新学生会長・新寮長あいさつ
- 12~14 退職に際して
- 15 行事予定(4月~7月)



卒業生・修了生に贈る言葉

～ソーシャル・ドクターをめざそう!～



校長

大塚 友彦

釧路高専本科卒業並びに専攻科修了の皆さん、卒業・修了おめでとございます。ご家族の方々におかれましても皆さんの姿に未来への確かな手ごたえを感じていると思います。

皆さんは、心身の成長が最も速く感受性が高い5年間を、専攻科なら7年間を、本校で過ごしました。皆さんは、講義や実験・実習等を組み合わせ、「頭を動かす」思考体験と「手を動かす」現物使用体験を実践し、知識やスキルの獲得だけではなく、必要な場面で、必要な知識・スキルを、自在に活用できる域まで理解を深めました。複合融合演習では、皆さんは仲間とチームを組み、現実社会の課題と対峙し、問題の本質を分析して、解決策を提案す

る社会実装型学習を経験しました。これらを通じ、複雑で未知な問題を科学技術で解決する能力も修得しました。是非、自分の実力に確固たる自信を持って下さい。

卒業・修了後も皆さんの「学び」は生涯続きます。「知識・スキルを獲得すること」「知恵を発揮すること」をバランス良く実践すれば、将来、皆さんは国際社会に貢献する「ソーシャル・ドクター」になります。病院の医師を「メディカル・ドクター」と言うなら、社会が悪くなったら治療し、あるいは悪くならないよう予防できるエンジニアは「社会のお医者さん」(ソーシャル・ドクター)と言えます。

卒業・修了に際し、皆さんにソーシャル・ドクターへの「上達のコツ」を伝授します。千利休は「利休道歌」の中で「規矩作法守り尽くして破るとも離るとても本を忘るな」と述べています。「規矩作法」は茶道の作法のことです。道を究めるステップを表す「守・破・離(しゅ・は・り)」は、この千利休の歌に由来しています。

「守」は教わった基礎を忠実に守り、再現できるステップです。学生時代の「学び」は「守」と言えます。学校で基礎基本を重視する理由は「守」を実現するためです。

「破」では、教わった通りの忠実な再現ではなく、自分でアレンジを加えることが重要となります。就職して初めて担当する仕事を工夫しながら進めていく段階は「破」と言えます。「離」は「破」の先の段階です。「破」では、皆さんは、複雑で未知の問題に対峙し、新しい価値、新しい考え方、新しい方法を創造する能力が重要です。就職して、他の部署や顧客等との板挟みや想定外な出来事に悩みながら、苦難を乗り越えるため、新しいアイデアを創造できれば「離」の段階と言えるでしょう。

「破」や「離」に至るために重要なことは「応用力」の修得です。応用力を獲得するには、例えば、現実の複雑な問題を幅広い視点で眺め、「問題の本質」を探究する経験が必要です。また、分野横断的な知識が求められる経験、複数の解決法の中から最適な方法を探求する経験も、応用力を育む絶好のチャンスになります。複雑で未知な問題にチャレンジすることは決して容易ではありませんが、ソーシャル・ドクターになることを夢見ながら、チャレンジすることを楽しみましょう。

卒業生・修了生の皆さん、勇気をもって、ソーシャル・ドクターになる第一歩を踏み出して下さい。

CONGRATULATIONS!!!!

卒業・修了おめでとろ！ 情報工学分野



質問

情報工学分野
いずみ ともなり
泉 知成

Q1 高専に入学した
当時に感じたことは？

入学当初にまず驚いたのは、本科4年生から専攻科2年生の大学生と同じ年齢の先輩方が、同じ校舎で学生として登校していた風景でした。

部活動などでは、そのような先輩方から勉強や高専生活に関するアドバイスを教えていただき、高校に進学していれば体験できなかった生活にワクワクが止まりませんでした。

Q2 高専生活一番の
思い出は？

5年生になって卒業研究をしたことです。これまで学んできた知識を用いて、まだ誰も解いたことのない問題を解くことができた時はとても達成感がありました。卒業研究の一環として参加した学会発表では、他高専の学生や大学生の研究についても知ることができ、研究の世界の面白さをさらに深く知ることができました。

また、研究室にフィンランドから来た留学生との交流を通じて、日本と海外の文化の違いなどを知ることができたのも良い思い出です。

Q3 進学先・就職先での
目標は？

私は来年度から釧路高専の専攻科生になります。

本科5年間で学んできた専門知識を活かして、専攻科ではよりステップアップをした研究をしたいと考えています。

さらに、釧路高専ではフィンランドへの留学も可能なので、グローバルな視点を深めるためにも挑戦してみようと思います。

Q4 最後に
先生方へ一言！

先生方のわかりやすい授業のおかげで、5年間、赤点を一つも取らずに進学することができました。

専攻科進学後もご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします！



帳尻合わせ

5年 情報工学分野

学級担任 大槻 典行

みなさん、卒業おめでとろでございます。
みなさんが入学して一年が過ぎ高専に慣れてきて専門分野も決まり、これから高専生活を謳歌してやろう！と思ったころ、窮屈な生活が始まってしまいましたね。まさか、これほど長い期間、行動が制限されるとは思いませんでした。最後の一年は少しですけど通常の生活に近い状態に戻れたので少しは謳歌できましたか？

さて、我慢が多かった高専生活、社会に出てからもこんな状況が続くのでしょうか。世の中大体のことは帳尻が合うように上手くできているという人がいますが、慰めや戒めに使われることがありますね。そう考えると我慢した分どこかで解放される時期があると思えてきます。この帳尻合わせを別の視点で当てはめてみると、学生時代、辛くても一所懸命頑張った人は将来それが活かされて充実した日々を過ごすことができ、逆に、楽をして何となく上手く過ごしたと思った人はこれから精進の日々が始まるかもしれないので覚悟しておきなさい、ということになるのかな。みなさんはどちらでしたか？ いずれにしても日々精進していけばその先の未来は明るくなりそうですね。どう行動するかは個人が決めることですが、後悔しないように頑張っていきましょう。

卒業おめでとう!



Q1 高専に入学した
当時に感じたことは?

中学校に比べて1クラスの人数が多く、毎日教室に行くのが怖かったです。授業も中学校に比べて難しく、授業のスタイルも異なったため授業に遅れないように必死でした。

また、私は寮に入ったので親元を離れての生活や初めて会う人との共同生活も不安でした。

しかし、同級生や先輩方が優しく接してくれたのですぐに寮生活に慣れることができました。寮生活のおかげで友達ができたとと思うので、寮に入っ
てよかったと思いました。

Q2 高専生活一番の
思い出は?

最後の高専祭が一番に残っています。分野展を自分たちが中心となって進めていく立場だったので、役割分担を考え、後輩への指導なども行ったので、大変でしたがいい経験になりました。

当日は同じ研究室の同級生とコミュニケーションを取りながら仕事をするのが楽しかったです。

また、シフトが入っていないときには、友達と浴衣を着て宣伝をしながら校内を回ったり、茶道部のお茶会に参加したりと5年間で一番充実した高専祭だったと思います。

質問

機械工学分野

かわかみ ことね
川上 琴音

Q3 進学先・就職先での
目標は?

大学に編入するので、釧路高専で学んだことへの理解を深め、就職してからもそれらを活かして頑張りたいです。
慣れない土地での生活も不安ですが、就職後の練習のつもりで頑張りたいです。

Q4 最後に
先生方へ一言!

川村先生には3年間とてもお世話になりました。

進路関係や卒研で相談したときには親身になって話を聞いてくれて、私も先生のような大人になりたいと思いました。先生方、5年間本当にありがとうございました!



誠実に生きる
ということ

5年 機械工学分野

学級担任

川村 淳浩

卒業おめでとうございます。この3年間、一番身近なところで皆さんの成長に寄り添うことができたのは、本当に幸せでした。保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。

さて、本校の信条と教育目標に、「信頼」と「人格」がそれぞれ最初に掲げられていることをご存じでしょうか。本校卒業生でもある私の誇りです(でした)。しかし、自身の曲事をよそに、生殺と奪のようなことができる、殊更ルールを振りかざして追い詰められたことはなかったでしょう。誰かの保身や立身出世のために陥れられたり、「鹿を指して馬と為す」のようなことをされたりしたことはなかったでしょう。世の中には様々な人がいることを実感されたと思います。私が安心してほしい。私の拙い人生の中でもここは極めて特殊な世界だと断言できますので、皆さんがこれから出会うであろうどんな困難も乗り越えられるでしょう。皆さんは、引き続き人格に磨きをかけて信頼される大人になってください。

また、今春進学される方も数年後までには企業等に就職されると思いますが、最初に勤める企業等は数年以上続けて欲しいと思っています。業績に乏しい新人が、3年程度でリスタートを選ぶことに対する普通の社会の評価は、皆さんご承知の通りです。石の上にも三年、続けていれば楽しさや成果が出てきます。皆さんが誠実に生きる姿は、周囲への刺激となっており、好循環が形成されるようになり、更なる成長に繋がっていくでしょう。

電気工学分野



Q1 高専に入学した
当時に感じたことは？

中学との自身を取り巻く環境の変化が新鮮でした。高専に馴染むにつれて、地元進学では関わることができないであろう地域の友達ができ、高専の特色をひしひしと感じました。寮では、親元を離れ自立しなければならぬ不安に駆られる中、先輩方に愛ある指導をしていただき、上下関係をみっちり仕込まれました。当時は廊下で先輩方とすれ違うたびに震えていましたが、今では本当に良い思い出です。また、寮内では多くの友人ができ、分野が違い学校で関わることが少ない今でも交友関係が続いています。5年間の学生生活では高専や寮のメリットを常に感じることができました。

Q2 高専生活一番の
思い出は？

高専生活の一番の思い出は部活動です。最後の高体連は感染症の影響で中止になってしまいましたが、仲間との練習は今でも思い出すことができます。また、部活動を通して仲良くなった先輩方の存在が大きいです。先輩方のおかげで寮生活もより一段と楽しいものとなり、楽しい時間を過ごせました。引退後も練習に参加してくださったり、一緒に遊びに出かけたりと、5年間通してお世話になりました。部活動を通して、尊敬する先輩方や友人と関わることができました。最高の部活動でした。

質問

電気工学分野

まつおか ことろう

松岡 鼓太郎

Q3 進学先・就職先での
目標は？

第一志望だった長岡技術科学大学の電気電子情報工学課程で、より専門的な知識を蓄えたいです。大学では興味のあるロボットやエネルギーについて理解を深め、関わる学問を選択したいと思っています。

Q4 最後に
先生方へ一言！

電気工学分野の先生方には本当にお世話になりました。特に、進学関係や高専生活を助けてくださった佐藤先生、卒業研究でお世話になった千田先生、4年間授業等で絶えず関わってくれた谷先生、先生方のおかげで実りある学生生活を送ることができました。4年間本当にありがとうございました。



卒業おめでとう

5年 電気工学分野

学級担任

佐々木 敦

電気工学分野卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまでご子息の成長を見守られてきた保護者の皆様には、謹んでご卒業のお祝いを申し上げます。

皆さんは高専生活の半分以上の期間をコロナ禍で過ごし、学校行事の多くが中止となっても寂しい思いをさせてしまいました。社会や学校ではこの事態に対応すべくいろいろな取り組みが試されてきました。この変革の時期に学生であったことはプラスの面もあると思います。学生という立場で社会から守られていたことと、社会の変化を見てから進路を考えることができたことはとても良いことだと思います。

高専の5年間は子供から大人へ成長する時期でもあり、多くの壁を乗り越えて来たのではないかと思います。壁は乗り越える前はとも高く感じられますが、いざ乗り越えて見ると思ったより低く思えるのではないのでしょうか。社会に出るとさらに高い壁が立ちました。出てくると思いますが、これまでの経験をもとに必ず乗り越えられるという信念を持って進んで下さい。そのときは無理な事に思えても、時間をかけて少しずつ進んで行けば案外上手くいくことも多いものです。

皆さんのこれからの人生が幸多いものになることを祈っています。

HAPPY GRADUATION!!!

電子工学分野



質問

電子工学分野

しおや ゆう
塩谷 優

Q1

高専に入学した
当時に感じたことは？

入寮当時、寮の先生と先輩からの厳しい指導と馴染みづらいルールのおかげで同学年の友達と奇妙な結束が生まれたのを覚えています。

多分今は無いですが、「新入生歓迎一発芸大会」とかマジで意味わかんねーなと思うところです。

Q2

高専生活一番の
思い出は？

原付で釧路から旭川まで行ったことです。5月なのに山の方は雪が降っていて、その後土砂降りの雨に見舞われ、倒れるかと思いましたが景色は良かったです。

この学年は見学旅行もなかったもので、学内の楽しい思い出は薄い気がします。僕だけですかね？

Q3

進学先・就職先での
目標は？

寝坊してもへこまない。

Q4

最後に
先生方へ一言！

5年間大変お世話になりました。私は専攻科に進学しますので、もう2年よろしく願います。



ご卒業おめでとう
ございます。

5年 電子工学分野

学級担任 高 義礼

まずは1年間、私の拙い担任業務にお付き合いくださり、ありがとうございます。大分手抜きでやりましたが、良く言えば皆様の自主性を尊重したつもりです。平にご容赦いただければと思います。

さて、振り返ってみますと、皆さんは2年生の終わりごろから“コロナ禍”に見舞われ、やれ休校だ、やれオンライン授業だとなり、長期休業も削られ、見学旅行もインターシップもできない中でよく頑張ってきたと思います。皆さんの頑張りには本当に頭が下がる思いです。このように、この先も自分の力だけではどうにもならないことが山ほどあると思いますし、そのようなときには“与えられた条件の中でまずは精いっぱい頑張る”しかないと思います。が、くしくもコロナ禍によって経験できたのではないのでしょうか。そのような皆さんですから、ご卒業後も心配なく活躍してくれることでしょう。

そして、たまには学校にひょっこり顔を出してください。昔話に花を咲かせましょう。皆様の今後のご多幸をお祈りしております。

Thanks everyone

建築学分野



Q1 高専に入学した
当時に感じたことは？

・寮生活…1年生の時は同級生と4人部屋だったのでいつでも遊べて楽しかったですが、互いの生活リズムの違いに嫌になる時もあり大変なことが多かったです。しかし、5年間寮で生活した経験は今後の生活にも必ず活かせると思うので入ってよかったと思っています。

・自ら行動…1年生の時に「生徒」ではなく「学生」ということを色んな先生から言われた記憶があります。学校でできることは沢山ありますが、その多くは誰かから与えられることはほばないので自ら行動することで楽しい学校生活を送れると思います。

Q2 高専生活一番の
思い出は？

・高専祭…コロナで規模縮小となっていましたが3年ぶりにフリパフォとバザーが復活した今年の学校祭はみんな楽しんでことができました。

・課外活動…茶道部やadriioの活動によって学校生活がより一層楽しく、先輩や後輩との繋がりができたのでよかったです。



Q3 進学先・就職先での
目標は？

来年度目標
・真面目…社会人としての自覚を持って仕事に取り組む
・楽しむ…新生活では新しい場所で新しい人との出会いを楽しむ

Q4 最後に
先生方へ一言！

5年間ありがとう
ございました!!!!



質問

建築学分野

こばやし あいり

小林 愛里

卒業おめでとう

ございます

5年 建築学分野

学級担任

鈴木 邦康

建築学分野のみなさん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、高専での学生生活はいかがでしたでしょうか。4年生の時は、新型コロナウイルスの影響で見学旅行は中止、学校祭も一般公開はなしという残念な状況となり、必ずしも満足のいくものではなかったかもしれません。5年生の時は、遠隔授業やそれに伴う年間行事予定の変更などの中、就職活動や進学のための準備に苦労されたことと思います。しかしながら、このような中でも今年度の学校祭でのパフォーマンスや体育大会などでのみなさんの生き生きとした様子が印象に残っています。

思い返してみると、みなさんが2年生の時に担任となる予定だったと記憶しています。実際には、寮担当となり、担任とはなりませんでしたが。この2年後、4年生となり成長したみなさんの担任となったわけですが、どちらにしてもみなさんを受け持つことは決まっていたことなのかなと感じています。大変なこともありましたが、みなさんの担任でよかったと思っています。

ここ数年、卒業生が来校した際に、2級建築士あるいは1級建築士に合格しましたという嬉しい報告を耳にします。もちろん建築士の資格に限りませんが、皆さんからの近況報告を楽しみにしています。



質問

建設・生産
システム工学専攻
きみなりた りゅうや
君成田 龍也

Q1 専攻科に入学した
当時に感じたことは？

自分は5年生の7月まで寮にいて、そこから一人暮らしをしました。
引越したての頃は同級生などが
たくさん遊びにきてくれましたが、専
攻科に入学してから友人が釧路を出
たり、一人暮らしを始めたりで友人が
家にくる機会が少なくなり少し寂し
かったです。

Q2 高専生活一番の
思い出は？

友人や先輩と遊んだことです。
Q1では寂しかったと書きましたが、
自分の家以外ではたくさん遊びました。
弾丸日帰りで稚内へドライブに行っ
たり、朝5時に起きてトマムにスノー
ボードしたり、朝まで麻雀したり
と、友人や先輩に恵まれていたので楽し
い専攻科生活を送れました。



Q3 進学先・就職先での
目標は？

直近の目標として二級建築士の資
格を取ることです。
その他にも宅建士や施工管理技士
などの将来に役立つ資格を取って
きたいです。

Q4 最後に
先生方へ一言！

自分はいろんな先生方のサポート
がなければ修了できてなかったと思
います。

進学の際には松林先生にお世話にな
り、部活動では三森先生や川村先生に
お世話になり、専攻科に入学してから
特別研究では千葉先生にお世話にな
りっぱなしでした。

だらしなくてめんどくさがりな自分
が修了できたのはたくさん先生の先生方
のおかげだと思っています。
7年間ありがとうございました。





質問

電子情報
システム工学専攻
かわせ たくま
河瀬 拓真

Q1 専攻科に入学した
当時に感じたことは？

釧路高専入学が決まった時、赤点が60点ということへの恐怖感と5年間という長さに不安を感じていたことを覚えています。

しかし、振り返るとたくさんの友人や教職員の皆様に恵まれ気が付くと、専攻科を含め7年間釧路高専で学びは一瞬だったように感じます。

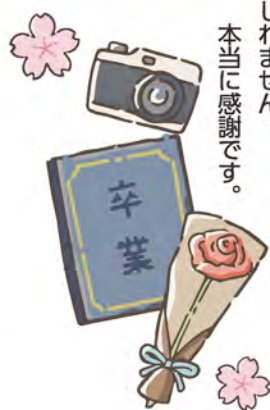
Q2 本科では？

本科では、電気工学分野として電気回路などの専門的な知識を身に付けました。

難しい教科も多く試験期間はとても苦労しましたが、友人や先輩の力を借りて切り抜けることができました。

この助けがなければ、留年していたかもしれません。

本当に感謝です。



Q3 専攻科では？

何とか本科を卒業し、多くの同級生が就職するなか私は専攻科へ進学しました。

専攻科では、電気工学分野の専門知識はもちろん情報、電子、建築、機械分野の学習も行いました。

不慣れた専門分野は初めて耳にする言葉も多く、とても苦労しました。

また、課題や発表も多く大変だと思いうことも多々ありましたが、とても成長できたと感じています。

Q4 最後に
先生方へ一言！

最後になりますが、私が無事修了を迎えることができたのは教職員の皆様、友人のおかげです。

本当にありがとうございました。



心身ともに健康で

専攻科

専攻科長

浅水 仁

専攻科18期生のみなさん、修了おめでとうございます。

就職する学生も大学院へ進学する学生も多少なりとも不安を感じていると思いますが、専攻科を修了したみなさんであれば、様々なことがあっても乗り越えていけると、私は確信しています。

私からみなさんへ送るメッセージは、「心身ともに健康で」です。

まず、自分がやりたい・楽しいと思うことに時間もお金も使って充実した生活を送ってください。

そうすると、心身ともに健康でいることができますと思っています。

健康でいることはとても大事です。若いみなさんにとっては、そんなことは当たり前と思っているかもしれませんが、仕事や勉強が大変になってくると、心身に何らかの影響が出るものです。その影響は、自分自身で認識できるもので、できないものもあります。休みを取らなければいけなかったり、病院に行く必要も出てくることもあります。そうすると、時間もお金もかかり、自分の好きなことに使う時間やお金が少なくなってしまうです。

健康だから、仕事も勉強にも全力で取り組めるのです。結果、仕事もプライベートも良い方向へ向かっていくはずですよ。

みなさんの活躍を心から期待しています。

就職先・進学先一覽

情報工学分野

就職(道内企業)

- ・株式会社エスイーシー
- ・ラテラル・シンキング株式会社
- ・北都システム株式会社
- ・フラワーヒルズ株式会社

就職(道外企業)

- ・株式会社フォーラムエイト
- ・独立行政法人国立印刷局
- ・株式会社堀場テクノサービス
- ・株式会社クレスコ
- ・テコム株式会社
- ・KDDIエンジニアリング株式会社
- ・株式会社日立アドバンストシステムズ
- ・大日精化工業株式会社
- ・東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)
- ・株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー(NTT-ME)
- ・株式会社RayArc
- ・一般財団法人めまんべつ産業開発公社(ひがしもこと乳酪館)
- ・フジテック株式会社

進学

- ・釧路工業高等専門学校専攻科
- ・宇都宮大学
- ・東京農工大学
- ・金沢工業大学
- ・豊橋技術科学大学
- ・東京情報大学

機械工学分野

就職(道内企業)

- ・パナソニック スイッチングテクノロジーズ株式会社
- ・旭イノベックス株式会社
- ・株式会社釧路製作所
- ・北海道旅客鉄道株式会社(JR北海道)

就職(道外企業)

- ・成田空港給油施設株式会社
- ・ローレルバンクマシン株式会社
- ・株式会社J-POWERハイテック
- ・サントリープロダクツ株式会社
- ・村田機械株式会社
- ・レンゴー株式会社

進学

- ・釧路工業高等専門学校専攻科
- ・室蘭工業大学
- ・豊橋技術科学大学

電気工学分野

就職(道内企業)

- ・株式会社北海道LIXIL製作所
- ・北海道電力株式会社

就職(道外企業)

- ・パナソニックEWエンジニアリング株式会社
- ・東北電力株式会社
- ・富士電機株式会社
- ・電源開発株式会社
- ・中部電力株式会社
- ・富士古河E&C株式会社
- ・東芝インフラシステムズ株式会社
- ・株式会社アビリカ
- ・東京電力ホールディングス株式会社

進学

- ・長岡技術科学大学



電子工学分野

就職(道内企業)

- ・株式会社ポータス
- ・北海道旅客鉄道株式会社(JR北海道)
- ・北都システム株式会社
- ・電制コムテック株式会社
- ・株式会社NTT東日本-北海道

就職(道外企業)

- ・スタンレー電気株式会社
- ・NECフィールディング株式会社
- ・パナソニック株式会社
- ・くらしアプライアンス社
- ・株式会社カネカ
- ・株式会社日立ハイテクフィールディング
- ・フォスター電機株式会社
- ・三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
- ・三菱電機株式会社(名古屋製作所)
- ・パナソニック インダストリー株式会社

進学

- ・釧路工業高等専門学校専攻科
- ・室蘭工業大学
- ・東北大学
- ・東京農工大学
- ・長岡技術科学大学
- ・豊橋技術科学大学
- ・愛媛大学

建築学分野

就職(道内企業)

- ・村井建設株式会社
- ・池田煖房工業株式会社
- ・株式会社砂子組
- ・有限会社出口板金店
- ・標茶町役場
- ・株式会社サン設計事務所
- ・釧路市役所
- ・辻野建設工業株式会社

就職(道外企業)

- ・株式会社竹中工務店
- ・西松建設株式会社
- ・株式会社アカンプリッシュ
- ・株式会社玉岡設計
- ・五洋建設株式会社
- ・ベクター・ジャパン株式会社
- ・戸田建設株式会社
- ・東亜建設工業株式会社
- ・大和ハウスリフォーム株式会社
- ・清水建設株式会社
- ・株式会社東栄住宅
- ・日本ステージ株式会社
- ・太陽工業株式会社
- ・アイング株式会社

進学

- ・釧路工業高等専門学校専攻科
- ・千葉大学
- ・豊橋技術科学大学

建設・生産システム工学専攻

就職(道内企業)

- ・株式会社構建設計事務所
- ・北海道電力株式会社

就職(道外企業)

- ・三菱地所コミュニティ株式会社
- ・東京不動産管理株式会社
- ・京セラコミュニケーションシステム株式会社
- ・キャノンメディカルシステムズ株式会社
- ・パナソニック株式会社

電子情報システム工学専攻

就職(道内企業)

- ・株式会社NTT東日本-北海道
- ・パナソニック スイッチングテクノロジーズ株式会社

就職(道外企業)

- ・株式会社日本デジタル研究所
- ・株式会社 日立ハイシステム21
- ・ソフトバンク株式会社
- ・中外製薬工業株式会社
- ・株式会社バイオインバクト
- ・株式会社RHEMS Japan
- ・株式会社FIXER

進学

- ・北海道大学大学院

新学生会長・新寮長あいさつ

学生会長 3年 電子工学分野 山^{やまがみ}上^{ゆうた} 悠太

この度学生会長になりました。3年電子工学分野の山^{やまがみ}上^{ゆうた}悠太です。こんにちはー!!!

まず、会長になった理由ですが高専の人たちとつと交流していきたいということ、もう一つは人前に立つという自分の苦手なことを克服しようと思ったからです。ここまで聞くと自分のことのためだけに会長になったように見えますが、ちゃんと会長になったからには責務を全うし、学校に貢献していきたいと考えています。ですが、僕は人生で初めて会長というものをやります。正直、自分で言うのもなんですが不安や心配ではないです。ですが、1年間学校の会長である以上、自分がやりたいようにやり、無理してでも色々な企画を考えて行事の運営を頑張っていきたいと思っています。そして、普通の高校では味わえない高専ならではの青春を学生会が学生たちに届けて高専を盛り上げていきたいと思っています。学生会は学年問わず入れますので、いつでも入りに来てください。まあ、こんな堅苦しいことを言っていますが、たくさんの人たちと交流したいので会長だからって気にせずリラックスな感じで男女問わず接してほしいのが本心です。そして、これから1年間会長の応援のほうをよろしく願います。



男子寮長 4年 建築学分野 寺^{てら}崎^{さき} 知^{とも}佑^{すけ}



この度、男子寮生会長になりました。4年建築学分野の寺^{てら}崎^{さき}知^{とも}佑^{すけ}です。

男子寮生会は、3年〜5年で各学年6名ずつ、計18名で構成されています。寮生会の主な仕事は、行事・レクの企画、運営や寮生の指導です。新型コロナウイルスの影響でなかなか行事ができませんが、毎朝の検温など体調管理を徹底して行事を行い、寮生の交流が活発になればと思っています。

寮生活では挨拶や礼儀、集団生活を通して規律などたくさん学ぶことができます。親元を離れることになるので、今までは親に支えられていたことをすべて自分で行うため親への感謝、ありがたみなどを改めて感じます。一人暮らしとは違って同級生や上級生など困った時に生活の事や勉強の面でも助けてもらえる環境なので、新入寮生の皆さんには安心して入寮していただきたいです。また寮生会としても寮生同士が学年問わず助け合える環境を作っていきます。

女子寮長 4年 情報工学分野 は^はが^が 芳^{よし}賀^か くるみ



次年度、女子寮生会長を務めさせていただきます。4年情報工学分野の芳^{よし}賀^かくるみです。

私の目標は、寮生みんなが気持ちよく生活できるように寮にすることです。共同生活を送るには、自分だけでなく相手のことも考えながら生活していかなければなりません。今まで先輩方が大事にしてきた挨拶はもちろんのこと、共同生活を送るひとりひとりが規則を守るだけでなく、規則にはない些細なことも相手のことを思い、気遣いや配慮ができる人が今以上に増えるような活動をしていきたいと考えています。

また、共同生活をしていく上で不満に思うことも多々出てくるかと思っています。その中で大事にしたいのが、低学年の意見です。寮生会は3年以上の学年で構成されているため、どうしても高学年の意見に偏ってしまいがちです。今までも、低学年の意見を取り入れるような行動はしていましたが、高学年から低学年に不安や不満などがないか聞く、と言いつらさがあるように感じました。低学年でも発言しやすいような環境を作り、全学年の寮生が過ごしやすいと思えるような寮を作れるように寮生会のみならず力を合わせて頑張っていきたいと思っています。1年間、よろしく願います。

退職に際して

情報工学分野教授 大槻 典行

43年前の昭和55年4月に釧路高専電子工学科に奉職（この当時は国家公務員でした）してからこの3月末をもって定年退職することになりました。例えば学生時代（本校電子工学科出身です）から数えると48年間、約半世紀の間この場所に通い続けたことになりました。長かった（建築三森先生の50年には敵いませんが）と言えるこの期間に「学生」→「助手」→「講師、助教授（准教授）、教授」とい



う立場で釧路高専の内と外を見ることができました。

釧路高専を卒業してそのまゝ助手として残って右も左もわからない状態の時、同期で一緒に残った建築の佐藤彰治先生と色々相談し合ったのが今でも思い浮かびます。このころは、事務の方々から声をかけてもらい花見や上茶路の河原でバーベキューをしたり官舎の一室で行った手巻き寿司パーティーに呼んでもらったりと色々なイベントに参加して、仲良くさせてもらいました。私の電子回路製作の師匠の技官の方と仲が良かったからかもしれません。ちなみに、この技官の方と佐藤彰治先生と私の3人で1985年に開催された国際科学技術博覧会（通称「つくば万博」）に夏休みに行ったことは懐かしい思い出です。この頃は、本当に充実していたと思います。心残りは、師匠と私が退職した後は、一緒にどこかに遊びに行こうと約束していたこ

とが叶わぬことになってしまったことです。

長くこの場にいるためか、ときどき、今の学生は昔の学生と変わりましたかと聞かれることがあります。以前は変わったと思ったこともありましたが、学生の本質はあまり変わっていないのかもしれない。自分の立場や考え方、社会的な風潮などが影響して見え方が変化したのだと思います。助手の時代は年齢も近かったことや学生時代に部活や学校祭で顔見知りだったこともあり学生とは先輩・後輩の接し方をしていたように思います。学科を異動し、更に講師になると年齢も10歳以上離れたこともあり教官（教員）と学生の関係になり以降それが強くなった気がします。それでも、学生を見渡していると色々な個性の持ち主がいるけれど「自分の学生時代にもいたよな」と思うことが多々あり、実は本質は変わっていないと思うようになりました。

十年一昔と言いますが、人と話をしている時、高専での昔という10年前、20年前、30年前、40年前の4昔もあり、どの昔のことを持ち出しているのか会話が噛み合わなくなるのが度々あり、あまり「昔」と言っちゃいけないなと思いつつ、つい口から「昔」のことが出てしまい苦い顔をされるのでした。今の釧路高専は昔（何昔でしょう）のように入試が高倍率ではありませんが、それでも、道東地区の唯一の工学系高等教育機関です。これからも釧路高専が末長く先進的技術者を輩出していくことを願っています。



退職に際して

電子工学分野教授 **松本 和健**



私が釧路高専に勤務したのは2001年の春ですが、1980年に釧路高専を卒業し、長岡技術科学大学で修士修了後は18年間、民間企業で勤務していました。これまでの勤務経験の中で、ほぼ半分以上を企業で残りを教員として過ごしたことになります。どちらの場合も長く勤務できたのは、周囲の方々の温かいサポートがあったことが第一に重要なことではありますが、私自身が高専で学んだ経験からどこに行ってもなんとかやっていけたことも一つの要因と考えています。特に高専の寮で過ごした5年間は私自身にとってその後の歩みに大きな影響があったと考えています。

釧路高専の寮にお世話になっていたのは、もう四十数年も以前になります。そのころと比べるとあらゆる面で、今の寮は全く別物になっているといっているでしょう。しかし、今も昔も変わらない釧路高専寮の伝統もどこかにあるように思います。では、それは何なのでしょう？ 40年以上の前の寮では、(少なくとも私は)親元を離れて独立した生活を送り始めることが非常に楽しみでした。今のようには携帯電話などない頃ですから、寮にいるとほとんど親との連絡は取れない(取らない?)状態でした。それが良いことか悪いことは別にして、高専の寮で5年間過ごして卒業するころにはどこに行っても生活できるくらいの自信は身についたと思います。その原因を考えてみると、(私が卒業後の進学先で他の高専生と話していて気づいたことですが)釧路高専の寮における自治的な特徴が二因ではないかと感じています。他の高専の寮に比べて、私が生活していたころの釧路高専の寮は高学年と低学年

の繋がりが(良くも悪くも)極めて強く、なおかつある意味、高学年の厳しい統制の中にあつたことです。一方で、教職員の寮生活に対する管理は極めて緩いもので、普段の寮生活での教職員の存在はほぼゼロに近いものでした。(学生だった私には少なくともそのような見えていました)。かといってだらしない生活を送っているわけではなく、低学年にとつては寮のルールを守り、そのルールがたとえ理不尽であっても、ルールを守れないと連帯責任を取らなければならないため、日々緊張の連続だったのです。したがって、寮における生活は高学年を中心として学生たちで管理されている小さな社会と云うことになります。当然、低学年にとつて、高学年は模範であると同時に、怖れを抱く存在でした。当然、寮生活において目上の者が低学年に生活をしつけ、それと同時にあらゆる場面で低学年の行動に目を光らせていたのです。こういった極端な状況における経験が、私にとって社会に出てからの上下関係、職場での自分の仕事への

の取り組み方等々において自信を持って対応できることに繋がっており、非常に役立ったと感じています。言い換えると、上下関係の中で他の人が何を考えているかを直接的に経験したので、多少のことには動じなくなったと言ったらよいかもしれません。

以上のことが私の釧路高専で得た最も大きな宝のように思えます。時代の流れとともに良い伝統は残り悪い伝統は消えていくのかもしれませんが、良い伝統だけが残った結果が、どの学校も同じになっていたというのでは全くつまらないことになると思います。釧路高専で過ごしたのだということが、プライドや自信になるようなことだけの伝統が今後も残っていけばよいと思っています。この後は2年ほどこの釧路高専にお世話になる予定ですが、あと少しだけ、ここで学ばず学生たちがプライドを持てるような伝統をもった学校になるよう微力ながら協力できたらと考えています。

退職に際して

建築学分野教授 佐藤 彰治



私にもとうとうこのような原稿を書く日が来てしまいました。本校学生時代を含めると48年間(内2年間は豊橋技科大に転籍)、お世話になったことになりました。思えば、助手として採用になった当時は、ただただ地元釧路に就職したい一心で本校に残る決意をしました。が、教職の何たるかもよく理解しておらず、文字通り先生の「助手」(お手伝い)程度の軽い気持ちでいたような気がします。そして、恥ずかしながら学生気分が抜けきらないまま数年を過ごした気がします。特に1年目は同期入学の複数の留年生が、休み時間のたびに教員室(当時は教官室)にたむろするような状況でした。真に教員としての自覚を持つようになったのは、もしかしたら初めてクラス担任を任されてからではないかと今思う次第です。さて、学生・教員時代を通して今でも最も強く印象に残っているのは、応援団員および応援顧問としての約30年間で

でしょうか。そうです、かつて本校にも応援団なるものが存在したのです。古くから居られる教職員の方々はご存じかと思いますが、現在のように道内4高専に分散して開催される高専体育大会(地区体)は、今から20年くらい前まで毎年当番校が替わって全種目(たしか13種目)を一地区で開催されていました。全選手一堂に会して、入場行進を伴う開会式も開催されました。その開会式の前に応援団による「対面式」というイベントがありました。4校の応援団が式台を囲んで対面し応援団長による挑戦状披露やエール交換があり、その周りを選手団が取り囲んで歓声や野次を飛ばすという、大変盛り上がるイベントでした。競技自体も非常に活気のあるものでした。学生もパワーがありました。一方で、当番校に当たった教職員は大会の準備から運営

まで大変な激務を強いられ、このことから現在の分散開催の形態に移行したと思われます。いわゆる「大人の事情」です。

閑話休題。高専を取り巻く状況も良きにつけ悪しきにつけ、年々様変わりしています。一時は、近い将来の本校の存続が危ぶまれたこともありましたが、ここにきて高専制度が再び社会にクローズアップされてきており、本校の将来も明るいと信じていますし、益々の発展を祈念しております。私自身は、皆様に助けられてばかりで、本校には何も貢献できなかった気がしています。申し訳ありません。

定年とはいえ、もう一寸だけ再雇用でお世話になります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

行事予定

令和5年4月～7月



4月

5^水 | 新入生入寮日

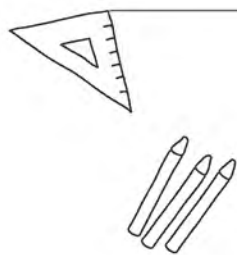
7^金・11^火 | 特別時間割

6^木 | 入学式(第59回)・編入学式(第45回)
専攻科入学式(第20回)・開寮日

12^水 | 通常授業開始

7^金 | HR・始業式(2～5年)

24^月 | 開校記念日(通常授業)



8^月 | 大掃除

19^金 | 専攻科推薦選抜

22^月 | 学生総会

5月



6月

5^月・9^金 | 前期中間試験、専攻科通常授業

10^土 | 学寮防災・津波避難訓練、寮居室替え



7^金 | 臨時休校

18^火 | 前期補講期間

8^土・9^日 | 地区高専体育大会

19^水 | 金曜授業

15^土・16^日 | オープンキャンパス

21^金 | 専攻科学力選抜

7月